様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・733	中学社会　歴史的分野
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 　小学校で学習した歴史上の人物や出来事から代表的なものを選びワークシートにまとめたり、調べ方のポイントを基に調べてまとめたことを発表する活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 　世界の古代文明について共通点や異なる点を整理したりする活動や、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の特徴をまとめたりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 　平氏の政治と摂関政治を比較して共通点と違いについて整理したり、室町文化が現在の生活にどのような形で残っているかを説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 　織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、元禄文化と化政文化の違いを時代背景を踏まえて説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 　ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後のヨーロッパとアジアの動きを比較し、世界の変化について説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 　高度経済成長による国民生活の変化について説明したり、現代の時代の特色について、冷戦後の国際社会の動きと日本のかかわりを説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　「学習の活用」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　「歴史のとらえ方」は8ページ「古代までの日本」は44ページ、「中世の日本」は38ページ、「近世の日本」は50ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は36ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約4%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャインの戦いの関係図」の図版を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「読み取ろう」において、図版の内容を読み取る視点を提示したり、「スキルｕｐ」において、系図の見方や発表の仕方を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、朝鮮、中国の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「国県対照と五畿七道」、巻末に「教科書に出てくる主なできごと・史跡・関係地」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 22 箇所、北方領土について 5 ページが取り上げられている。 ○　環境などの影響が少ない植物性インキと再生紙を使用し、光沢をやわらげて目に優しく、大判化に伴う重量を抑える軽い紙を採用している。 ○　ルビは全て読みやすいゴシック体にするほか、図版中の配色や体裁にいたるまで、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。			